広報
座光寺
2023
12
No.67

座光寺風景

パノラマファーム大門リンゴ祭り
たくさんのリンゴを収穫して喜びのVサイン

パノラマファーム大門リンゴ祭り

公民館　健全育成部

時折小雨が降る肌寒い10月15日（日）にパノラマファーム大門にて公民館健全育成部の主催による「パノラマファーム大門リンゴ祭り」が開催されました。

小学校低学年の親子14組が参加しました。前場長の代田勝さんの説明で参加した子どもたちは真っ赤に色づいた紅玉、黄色に輝くシナノゴールドなどを楽しそうにもぎ取っていました。

その後、取ったリンゴを使って焼き肉のタレを作りました。親子で協力してリンゴ・玉ねぎをすりおろし、にんにく・だし・醤油などを加えてガスコンロで煮詰めました。りんごの甘い香りと、醤油・にんにくの食欲をそそる香りが充満しました。少しだけ焼き肉でタレの味見。自分で作った特製タレで食べる焼き肉は格別のようでした。子どもたちは「ホットケーキや焼肉がおいしくて嬉しかった」「リンゴをはじめて採って楽しかった」と感想を語ってくれました。特製タレは参加した皆さんで瓶詰めにして分け合い持ち帰りました。

今日のパノラマファーム

座光寺小4年　知久　義彦

今日、パノラマファームに行きました。まず、4種類のりんごをとりました。「こうぎょく」「シナノゴールド」「はるか」「あきばえ」をとりました。

次はパンケーキを作りました。たまごをわってまぜて、ホットケーキミックスを入れてまぜてやいてかんせい!!やわらかくておいしかったです。

次はやきにくのたれを作りました。まず玉ねぎをすって、りんごをすってかつおだしをとかして、かんせい!!やきにくは1人3枚ずつだったけどとってもおいしかったのでよかった。帰りにりんごジュースものんでおいしかった。

今日りんごでやきにくのたれをつくれることをはじめて知ったのでこれからにいかしていきたいです。またいきたいです。

タレの味最高！

● 人のうごき　世帯数／1,061戸　人口／4,148人　男／2,056人　女／2,092人（令和5年11月末現在）

リニア開業を見据え 座光寺の将来像を市と共有

市長と語るまちづくり懇談会

座光寺地区の「市長と語るまちづくり懇談会」が9月29日（金）、座光寺公民館で開催された。自治委員をはじめ地域住民約40人が参加した。市からは市長の他、リニア推進部長・産業経済部長・建設部長等、5名の出席があった。

会の前半、佐藤健市長は、あいさつを兼ねて市政に関する様々な課題を話題に挙げた。

まずリニアに関することでは、工事が進んでゆく中で地元に迷惑がかからないよう、JR東海に協力を求めることや、開業時期が見通せないこと、リニア時代を見据えた土地利用計画の見直しを、来年度のしかるべき時に実行する予定であることが話された。

建て替え問題の中の文化会館については、今年度中に基本構想を、令和6年度には基本計画をまとめ、建設場所を決定する旨の話があった。また、新警察署に免許センターが併設される関係で取り壊しとなる創造館の機能移転は、旧地場産業センターの活用を考えるとのことであった。

信大新学部誘致の話はついえたが、市ではこの地域に4年制大学がリニア時代に重要とし、私大や高専も視野に入れた誘致活動を今後も進めていくとした。そんな中、信大と山梨大が連携して進める水素エネルギーの研究に際し、この地も実証分野で貢献する構想のあることが分かった。

会の後半は地域から課題と要望が提言された。最初に取り上げられたのは「飯田市北部地域の振興に向けた考え方」である。市が昨年度作成したものの、地区住民はほとんど認知していないところから、市に説明を求めた。

座光寺地区を「交流重心」（リニア活用グリーンエリア）と位置付け、SICの開通もあって広域交通の拠点となる強みを生かし、この地への産業や人材の呼び込みを推進するという。その際、脱炭素の構築や良好な景観の保全も目指すとする。住民からは、具体化する時は住民の意見を聞いて欲しいとの声が挙がった。

次に、今年4月にエス・バードに設置された「信州大学ランドスケープ研究室」からの提言を、市が進めるリニア駅周辺整備に取り入れようとしないのは残念であるとし、自治会は両者の密なる連携を提案した。市は「駅前広場の構想はこれまで市民と積み上げてきたものがある」とし、「これから作っていくものについては研究室の知見を取り入れていく」と回答した。

その他、住民から市に対し、リニア工事に伴う住民の安全、マレットゴルフ場の復旧支援、河川の堤防強靭化を求める声があった。

牧野光彰自治会長は、「リニア時代にあっても、これまでの自然を守りつつ新しいまちづくりに取り組んでゆく」と会を締めくくった。

飯田市の掲げるこの地域における立派な将来ビジョンを「絵に描いた餅」に終わらせぬよう、地元もしっかりと関わって共に推進してゆきたい。

実態に即した住民訓練実現

座光寺地域防災訓練

飯田市地震総合防災訓練に合わせ、座光寺地域防災訓練が9月3日（日）、4年ぶりに全住民参加の下、実施された。

今年度は、災害発生後最初に必要となる住民同士の安否確認行動・助け合い行動に重点が置かれた。これまで省略されてきた隣組の安否確認を、実際に組合ごとに集合場所を決めて行い、集合場所に来ない世帯は組長が回って安否確認を行うなどの行動も確認できた。また同じくこれまで省略されてきた、住民から地区長、地区長から区災害対策本部への被害報告訓練も初めて実施された。

実際に地震災害が起これば、始発の住民行動のこれらの部分に一番混乱が予想される。これまで上層の本部訓練が優先され、住民は単にそれに動員されているだけで実態とかけ離れていたが、今年の訓練でやっと住民自身がどう行動しなければならないかが確認された。実際の地震災害ではこれに加えて、住民同士の人命の救出活動が行われることになる。

拠点となる座光寺公民館では、昨年から取り入れられた「ファーストミッションボックス」によってスムーズな本部開設が行われ、各区から無線で上がってくる被害報告を地図に落とした。

小学校での全体訓練は例年通り。実際の感染症下での避難所開設を意識した対策が取られていたのが印象的である。

牧野光彰本部長は「今日の訓練で学んだことを実際の災害時に生かして」と結んだ。

秋のごみゼロ運動集計結果

空き缶	200個
空きびん	20本
ペットボトル	81本
埋立ごみ	8袋
燃やすごみ	29.5袋
資源ごみ	6袋
その他	1個

参加者

大　人	592人
子ども	26人
計	618人

地域学習会を開催しました

座光寺公民館　運営委員長
原田　聡昭

現在リニアの関係で座光寺が大きく変わりつつあり、様々な工事が進む中で、「今後どのような形で進んでいくか」といったところをテーマに、今年度はフォーラムが出来たらと考えました。今回の地域学習会はその前段として、今進んでいる工事の内容や地域の基本計画等についてお話しいただくこととしました。

当日は53名の方にご参加いただきました。国道建設事務所様からは、国道153号線の4車線化とスマートインター取り付け道路の工事計画や現在の状況について詳細にお話しいただきました。令和9年度には工事が完了予定であることもお伺いしました。飯田市リニア推進部様からは、リニア駅の建築計画についてお話しいただき、駅周辺に持たせる機能について説明をいただきました。また、大阪・名古屋・品川の三大都市圏間が一つの巨大都市圏になる「スーパーメガリージョン構想」がリニアで可能になることもお話しいただきました。座光寺自治会からは、新幹線飯山駅を視察して駅周辺の開発があまり推進できていない現状をご説明いただき、一方で河原に建設されるリニアの橋りょう工事で交通量が増えることに苦慮していることをお話しいただきました。

参加者からは、「ストロー現象が起こらないようにすることが必要」、「農地について土地利用の見直しは地区ごとにお願いしたい」といったご意見が寄せられました。

今回ご講演いただいた内容や、令和4年に作られた座光寺の土地利用計画、アンケートでいただいたご意見をもとに文化祭中に開催予定のフォーラムにおいて、今住んでいる方が、ずっと穏やかに暮らせるような地域になるように、今後の座光寺について考えてみたいと思います。ぜひ大勢の方にご参加いただきますようにお願いします。

座光寺の子どもを語る会「今できることを考える」

座光寺公民館長
片桐　善昭

座光寺の子どもの健やかな成長を願い、学校とPTA・家庭と地域が一堂に会して話し合う「座光寺の子どもを語る会」が9月15日（金）、座光寺小学校体育館において開催された。

今年のテーマは、昨年座光寺小学校150周年に併せて行った同会に参加した子どもたちから出された意見・思いなどをもとに、A「地域の魅力」B「遊びの場」C「イベント」D「安全・安心」の4つのテーマに分類して、私たち大人が実現に向けてどう取り組みができるのかを話し合った。

今回のグループワークの方法はワールドカフェ方式として、3テーブルを順次回り意見交換を行った。

出された主な意見として、A「地域の魅力」では、内外に座光寺の魅力を知ってもらうためにホームページや動画でさらに情報発信が必要。色々な人と話をする中で地域を知り魅力を感じてもらいたい。桜ガイドはおもてなしの心が醸成され視野が広がるなど。

B「遊びの場」では、子どもたちは遊具が無くても自由に工夫して遊びを考えられる。子どもが集まれる場所の情報共有方法を考えては。もっと公民館を活用したらなど。

C「イベント」では、地区の行事は大切、廃止するのではなく子どもたちから意見を聞き、発想の転換、継続できるよう模索することも大事など。

D「安全・安心」では、通学路の防犯対策の必要性、スマートインター・リニア工事関連による交通量の増加に対する安全対策の継続要望、あいさつをすることは防犯対策になるなどの意見が出された。

今後出された意見を共有し、それぞれ個人・団体が持ち帰り、少しでも実現できるよう「今何ができるのか」を考え、より多くの人を巻き込んで実行に移していければと期待している。

当日の参加者はまだまだ少ない状況ですが、参加者からは気軽に話ができ有意義な会であったとの感想もいただいておりますので、次回はぜひ参加して話をしてみませんか。

マレットゴルフ場復活に向けてご寄付のお願い

マレットゴルフ愛好会会長
清水　明

天竜川河川敷にある座光寺マレットゴルフ場は、令和5年6月の大雨と、7月の局地的な突風により、表土の流出、ヘドロの堆積に加え、ニセアカシアの倒木により使用できない状態になっています。

これまで、マレットゴルフ場復活に向けて多くの方にご尽力いただいています。例えば薪ストーブ愛好家のグループ「薪人（まきびと）」の皆さんが、倒木を撤去して下さり、取り組みは新聞にも掲載されました。

この施設は年間約4000人が利用し、健康増進や住民交流に活用されています。ただし、マレットゴルフ場の復旧には、まだたくさんの費用の発生が予想されますので、早期復活のためにも皆様の温かなご寄付の協力をお願い申し上げます。

※ご寄付については自治振興センターにお問合せ下さい。

古きを学び変化を知る

座光寺の古墳ウォークラリー

公民館健全育成部主催による「座光寺の古墳ウォークラリー」が、9月24日（日）に開催され、6組の親子が参加しました。畦地一号古墳、高岡一号古墳、蚕玉様、石塚古墳の順に歩いて巡りました。子どもたちは、各地で歴史に学び地域を訪ねる会・2000年浪漫の郷委員会の皆さんの説明を聞き、ウォークラリー用紙にスタンプを押してもらい嬉しそうでした。蚕玉様では、唐沢の櫛原綱由さんから説明を聞きながら変わりゆく座光寺の風景を眺めました。晴天の下、座光寺の下段を一望することができました。

公民館に到着すると、ご褒美が用意されており子どもたちからは、歩いた疲れも忘れるような笑顔がこぼれていました。案内をしてくれた田口会長は、「座光寺のことをもっと知ってほしい。今後もいろいろな行事を計画していくので是非参加してほしい」と語りました。

丘フェスを終えて

飯田OIDE長姫高 3年
田中 天地

私たち飯田OIDE長姫高校では、課題研究という地域に深く関わっていく授業を行っています。私たちはその中の「座光寺班」に所属し、活動してきました。

私たちは座光寺の特産品である果物、その中のりんごを使ったりんごあめを広めていこうと考えました。そこで、県外からも人が多く訪れるという人気のお祭り、「丘のまちフェスティバル」へ出店することにしました。りんごあめを試作したり、座光寺の運動会で試食してもらったりと色々ありましたが、販売という形で食べてもらうのはここが初めてでした。私たちが販売したりんごあめは2種類あり、座光寺産のシナノスイートとシナノゴールドの2つを使いました。どちらもとても人気で、すぐに完売してしまいました。

私たちが販売できたのは座光寺の多くの協力があったからで、とても感謝しています。丘フェスという大きな場で販売できて、本当に良かったです。

火おこし体験（健全育成部）

昔の人の苦労

座光寺小４年　市瀬　杏珠

私は火起こし体験に参加しました。お手本の先生も苦労している様でした。「そんなに難しいの？」と思ってやってみましたが、やはり難しくて、手がクタクタでした。

父が代わってやってみると、すぐに煙が出て来て私も手伝うとすぐに火が着きました。あと、友だちと一緒に体験できてすごく楽しかったです。

最後は焼きイモでホカホカあったかいおいしいおイモを食べられてよかったです。なによりも昔の人は、毎日毎日手で火を起こしていたと思うと、大変だったんだなと感じました。

昔の人がこんなに苦労していたことと現代の便利さを感じることができてよい体験でした。

変わりゆく座光寺

リニア中央新幹線 天竜川橋りょうほか新設工事開始

令和5年6月18日（日）、座光寺公民館にて「天竜川橋りょうほか新設工事に関する工事説明会」がJR東海・飯田市・座光寺自治会主催により開催された。工事の概要、工事車両の運行計画及び安全対策、環境保全についてなどの説明があり、工事用トラックの運用計画に対して住民からは、「地元住民の交通を優先してほしい」「交通誘導員を配置してほしい」との声が挙がった（当日の説明資料は飯田市のHPで閲覧可能）。また、保守基地についての質問も挙がったが、JR東海は「保守基地については設計中であり、工事計画などはその後になるためその都度説明する」と回答した。

この説明会実施をもって、座光寺側の天竜川橋りょうの下部工事が10月2日（月）から開始された。座光寺地区内でのリニア本線工事はこれが初となる。

天竜川から風越山を望む

座光寺保育園

座光寺保育園では、毎月誕生日会をしています。10月の誕生日会は保育園を飛び出し、麻績の森の広場で全クラス合同でお祝いしました。いつもはいちごやクリームが飾られたケーキを使います。しかし今回のケーキは真っ白!!「これじゃあ、なんだか寂しいなぁ」と子どもたち。そこでケーキに飾るものをそれぞれ探しに行き、みんなで完成させることになりました。

色合いを考えて探す子ども、形をよくみてきれいな木の実を探す子など、みんなの思いがつまったとても素敵なケーキが完成しました。子どもたちはみんな「わぁ～!!」と寄ってきて誕生日の子どももいつものケーキ以上にニコニコしていました。今回のケーキのローソクは本物ではなく、子どもたちが飾りつけの中で立てた木のローソク。火はサルビアの花びらです。1つずつ花びらが吹き飛ばされると「おめでとう!!」と拍手がおこりました。自然が作り出す、特別な時間でした。それを見ていた未満児の子ども、後日、保育園の園庭で木の実でケーキを作ってみんなで誕生日会ごっこをしていました。

11月に入ると、「次は○○ちゃんの誕生日だ!!紫色が好きだからこの実が良いよ!!」「赤色が好きだからこの葉っぱと実が良い!!」と声があがりました。座光寺には自然がいっぱい。だからこそできることです。これからも座光寺だけの素敵なケーキで一人ひとりを祝ってあげたいです。

座光寺小学校

はじめてのお米作り

座光寺小5年　今村　葵

僕は今年5年生になってから初めてお米作りをしました。お米作りは初めてだったのではじめからとても緊張していました。最初は田起こしをしました。田起こしは土と肥料を混ぜる作業で土と粉々になった草などを自分の手で混ぜるのが大変でした。代かきでは水を入れた田んぼの中に入り、土を踏んづけ平にしていくという作業でした。日陰の方に行くと水がすごく冷たくて足がヒリヒリしました。土がびちゃびちゃ飛びまくって自分の服が汚れてしまいました。5月にはいよいよ田植えをしました。苗を植えるとき苗が曲がっちゃったり倒れたりしましたが、みんなで協力してたくさんの苗を植える事ができました。そして10月になり稲刈りをしました。最初は刃物をつかうので結構緊張しましたが、どんどん刈っていくうちに慣れてきました。最後の作業、脱穀ではプールサイドのフェンスに乾かしておいたお米を足踏み脱穀機でどんどん脱穀していきました。ついに11月、収穫祭をやりました。取れたお米を水につけ炊飯器で炊きました。炊いている間に、みんなで持ってきた具材で豚汁を作りました。半年かけてみんなで頑張って作ったお米は、いつも食べているご飯のお米よりも数十倍美味しかったです。

高陵中学校

高陵中学校2年5組の木島愛奈です。自分はいつも普通の日々を過ごしていますが、ここ最近では2回目の期末テストがありました。そのためしっかりと勉強をしました。理科と社会のみですけど。それ以外の科目は本当に何も手をつけていなかったので、テスト当日は、苦しみ続けました。今回だけではないですが、早めにやっておくことが良いと改めて思い知らされました。

でも、次は次はと言いながら結局テスト直前に勉強するはめになります。どんなことでも早めにやる癖をつけたいですね。やった分、自分に返ってくるので、物事を早めにやることを心がけていこうかなと思います。

今度のテストでは、理科がほとんど計算だと聞きました。えらいこっちゃですね。なので、早めにやって全問解いてやろうと思います。やる気があれば、どんなこともやりとげられる気がするので、やる気も大切にしていきながら、次回のテストでリベンジします。

最近は、自分の好きなことを努力し、伸ばしていっていますが、この努力をテスト勉強に生かすことも大事なんだなと思います。努力はうらぎらないこともテストで思い知らされます。自分の苦手なことにも、少し努力を積み重ねると良い結果になるかもしれませんね。自分も頑張って努力をしようと思うので、皆さんも、少し頑張って努力してみても良いかもしれないですね。

育樹祭

11月4日（土）、飯田市育樹祭が南本城で開催されました。自治委員会・麻績の里振興委員会の委員・財産区議員のほか、一般公募、市議会議員など80人あまりが参加して、ヤマザクラの間伐を行いました。

このヤマザクラは、平成18年に2,000本が植えられましたが生育がよくありませんでした。日当たりがよくなるように、残すことにした木のまわりを伐採しました。森林組合から作業の説明を受けた後、7班に分かれ、めいめいがのこぎりを使って切り倒していきました。

南本城は、遊歩道を歩いて自然や砦としての歴史に触れられる里山です。手を入れて大切に残したいものです。

本格的料理に舌鼓

座・女子力と公民館女性委員の交流会

座・女子力と、公民館女性委員の交流行事として、10月14日（土）に、公民館調理室で料理教室が開催され11名が参加した。座・女子力代表の原田さんは「それぞれの団体では活動しているが一緒に何かやる機会は少ないので、今日は楽しく交流したい」と語った。講師は、公民館文化部の小島さんと佐々木さん。まず、食中毒についての注意点を周知して調理開始。今回作るのは、「ミートソーススパゲティ」と「ニョッキきのこクリームソース」の2品。ミートソースは、赤ワインを加えるなど、ひと手間加えた本格的な調理であった。調理が終わるとワイン（ノンアル）で乾杯。参加者からはとてもおいしいと大好評であった。講師の小島さんは「ぜひ家庭でも作ってほしい」と語った。

和気あいあい ファミリー料理教室

健康福祉委員長　増澤　郁夫

昨年と同じく、2回目の「ファミリー料理教室」を、栄養士の北原由紀恵先生を講師として上郷公民館調理室で5家族に参加していただき、楽しく和気あいあいと開催できました。今回のメニューは「手づくりピザ」「たっぷり野菜のスープ」「ヨーグルトパフェ」の3品です。ピザは材料を混ぜて、ねかせて、丸い形に伸ばします。一生懸命料理する子どもたちの姿をおかあさんが笑顔で見守ったり、連携プレーで調理したりしている姿はほほえましかったですね。ピザの形は少しくらい変でも、親子で時間をかけて協力することが楽しいですね。完成した後は、出来栄え、苦労したこと、手順や工夫できたことなどを話しながらおいしく楽しく食事ができました。

後片付けもしっかりできましたね。来年も計画しますのでぜひ家族の参加をまっています。お父さんも誘ってください。大歓迎ですよ。

敬老祝賀会に参加させていただいて

高陵中学校3年　木下　和季

私は中学校を代表し敬老祝賀会に参加させていただきました。とても緊張しましたが、おじいさんおばあさんは真剣に私の話を聞いてくださいました。おじいさんおばあさんは声をかけてくださったり、今年の夏はとても暑い日々が続いたので体調を気にしてくださったりしてくれました。そのような姿におじいさんおばあさんの人柄の良さや温かさを実感しました。

最近では地域での活動が増えてきています。そういった時でもおじいさんおばあさんたちは積極的に活動し手伝ってくださいます。私は大変うれしく思いました。また、私にも座光寺に住んではおりませんが祖父母がいます。いつもやさしく見守ってくれ悩んだ時にはアドバイスをくれて落ち込んだ時には、はげましてくれます。私は座光寺の子どもたちを大切に思ってくれるおじいさんおばあさんを大切にしたいと思います。

座光寺の自然 34
大堤のカモ類

大堤が埋め立てられることになりました。この堤は唐沢など下段の水田のためにつくられたもの。水田が少なくなり、西天竜の水が下段の水田の水を賄うようになって必要性がなくなったのです。

この大堤と近くの美女池（それぞれ上下２つあり）は冬になるとたくさんのカモ類が集まり、絶好の観察地です。

美女池のカモ；種類ごとに集まる傾向があります。手前からカルガモ、コガモ、マガモ。この３種が一番多い種類です。

大堤は団地の横、美女池はフルーツラインの脇。いずれも人の生活圏、このような所になぜカモが集まるのでしょう？

集まるカモの数

各池ともそれぞれ30～60羽。ここ2年ほど大堤は少なくなり、上の美女が増えました。下の美女池はわずかです。

どんな種類が？

多いのは写真の3種。カルガモは国内でも良く繁殖し、しばしばＴＶに子連れのカモが道路を横断しているのが放送されます。座光寺でも土手に巣をつくったことがありますが、本来は樹の洞（穴）に巣をつくるもの。例の行列は巣から近くの水辺への移動です。座光寺には巣をつくる大きな樹がありません。仕方なく土手を選んだのでしょう。

水辺のカモがなぜ樹に？

シベリア等では湿地に営巣。日本の湿地は池塘（ちとう）の脇、天敵が多くてとても巣をつくれません。かの地の湿地は広大なのです。カルガモは樹上を選んだから日本でも営巣できると見た方がいいでしょう。

なぜ集まる？

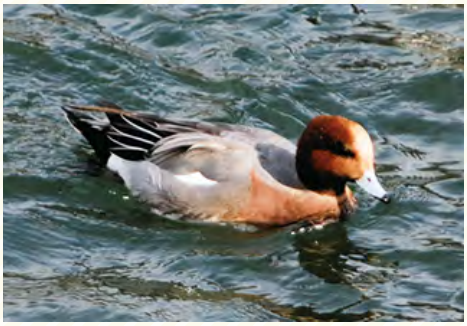
カモが集まるのは人が近くにいるから。「なんで？」。それは人の近くが一番安全だから。カモたちはそれを知って集まります。人家から離れたところは銃猟の対象。人家近くでは銃猟は禁止されていますから、カモたちはそれを知って（？）、安全なところに集まります。安心して休息睡眠し、夜になると近隣の田んぼに落穂などを探しにでかけます。穀類や草を食べる草食カモが集まっているのです。

観察の勧めと注意

この冬、大堤が埋められる前にカモたちの観察に行ってはどうでしょう。双眼鏡は用意していってくださいね。それから「そっと」。昼間のカモたちは夜のために、眠り休んでいます。

最後にカモを同定していただいた美博の米山富和さんに感謝します。

（伊那谷自然友の会　小林正明）


ヒドリガモ

オナガガモ；稀にみられる

編集後記

座光寺に住む者として、リニア工事静岡工区が気にならないはずがない。川勝知事が次々と持ち出す「静岡の水全量戻し」「トンネル掘削土置き場」「南アルプス生態系」の問題を関心を持って追っている。

これら県とＪＲ東海との間の問題を解決するために、令和２年４月から国の有識者会議が発足し、全27回の会議を重ねて、今年11月に全審議を終了した。

この間、当会議はそれぞれの結果を中間発表してきたが、知事はナンクセをつけては突き返してきた。時に、「結果は尊重するが、従うとは一言も言っていない」などと…。「生きているうちにリニアに乗りたい」「小さい子を連れて４時間の帰省はつらい」と、一日も早いリニアの開通を待ち望んでいる人たちをよそに。

先般、「水問題」に関し、大井川流域の市町長たちが「田代ダム取水抑制案」を了承し、ＪＲ東海と水利権者の東電との間で協議がまとまった。知事を取り巻く空気が変わってきた。

（広報部　長沼）

●広報座光寺のバックナンバーを座光寺のホームページからご覧になれます。

広報 座光寺　発行／座光寺地域自治会　編集／公民館委員会広報部　印刷／龍共印刷株式会社

この広報誌は、再生紙を使用しています。